救急車119番要請の判断と連絡・報告

以下の症状が1つでも当てはまれば、自分たちで救急車を呼ぶ

1・意識をみる
- □意識がない・分からない（声掛けへ反応なし）
- □もうろうとしている
- □受け答えがおかしい
- □ろれつがまわらない
- □自分で動けない

2・全身をみる
- □けいれん・ひきつけ・全身硬直
- □呼吸が苦しそう、または弱い
- □多量出血・出血が止まらない
- □顔・背中・胸・両足などの広範囲のやけど
- □ふらついて、まっすぐ歩けない
- □失禁している

3・状況と症状
- □頭部を強打した　□体に強い衝撃を受けた
- □高いところから落ちた（概ね傷病者の背の高さ）
- □頭部の陥没，ぶよぶよしたタンコブ，出血
- □手足などの変形と激しい痛み
- □激しい頭痛　□強い腹痛・繰り返す嘔吐

119番で聞かれること

①火事ですか、救急ですか？　→「救急です」
②救急車の行先は？　→「岡山県立大学　〇〇棟〇〇部屋」
③だれが・どのように・どうなったのか　→「状況や症状を簡潔に伝える」
　※ 状態によって救急隊から応急手当の指示がある
④傷病者の年齢、性別、氏名　→「分かる範囲で伝える」
⑤119番通報した人の名前と連絡先

- □救急車に同伴する人を1名を決め、帰りの交通手段も考えておく
- □可能な範囲で救急搬送される人の情報を収集し、到着した救急隊に伝える

救急車を要請したら、必ず連絡・報告を

- □ 警備室（救急車の誘導を依頼）TEL：0866−94−2014
- □ 保健室　TEL：0866−94−9140（平日8:40～17:15）
- □ 学生支援班 TEL：0866−94−9164（平日8:40～17:15）
- □ 搬送される方の家族へ連絡